

12都府県 4指標以上ステージ4

政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会による感染状況を示す六指標について、過半数の四つ以上で「ステージ4」(爆発的感染拡大)に該当するのは十二都府県であることが、厚生労働省が公表したデータから分かった。政府が今月、緊急事態を再宣言した十一都府県のうち京都以外と熊本、沖縄の二県。

病床ステージ3以上は40都道府県

政府は緊急事態の再宣言に

は消極的だったが、昨年末以降の感染急拡大を受けて七日、東京など四都県を対象に踏み切った。だが、これでは足らず十三日に愛知、大阪、福岡などにも拡大。それでもなお、政府の対応が感染拡大の勢いに追いつかない実態がデータで示された。

指標は①病床数の逼迫を示す確保想定病床の使用率②人

口十万人当たりの療養者数③直前一週間の十万人当たり新規感染者数④PCR検査の陽性率⑤新規感染者数の前週比

⑥感染経路が不明な人の割合。六指標全てでステージ4相当なのは栃木、千葉、東京、神奈川、大阪、兵庫、福岡、埼玉、岐阜、愛知、熊本は五指標、沖縄は四指標だった。再宣言の対象となつた京都のほか群馬、二重、宮崎は二

指標で該当していた。

三十五都道府県では適当たりの新規感染者数が、前週よりも増加。徳島の三・一一倍をはじめ岩手二・二倍、佐賀二・一倍が高かった。

確保を想定する病床の使用率は十九都府県が該当。ステージ3(感染急増)も含めた四十都道府県で病床の不足が

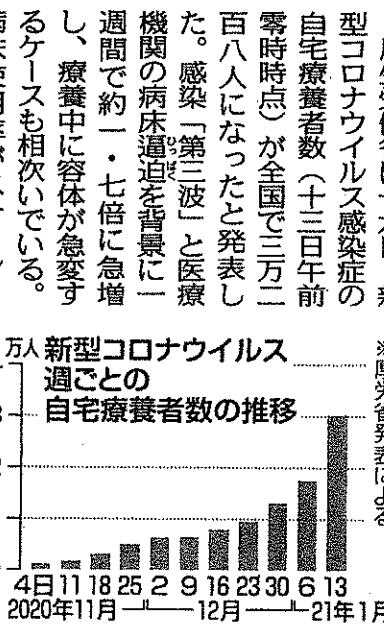
深刻となつている。

感染経路不明の割合が50%以上でステージ4相当だったのは千葉の79・4%など九都

府県。首都圏のほか宮城も61%と高い。政府はこの割合やPCR陽性率などが比較的低い地域を再宣言対象から外したものとしている。このほか②療養者数は二十一都道府県、③新規感染者数が十四都府県、④PCR陽性率は十四都府県四十都道府県で病床の不足がでステージ4相当だった。

自宅療養3万人超

*厚労省発表による



厚生労働省は十六日、新型コロナウイルス感染症の自宅療養者数(十三日午前零時時点)が全国で三万二百八人になつたと発表した。感染「第二波」と医療機関の病床逼迫を背景に一週間で約一・七倍に急増し、療養中に容体が急変するケースも相次いでいる。

病床使用率がステージ4(爆発的感染拡大)の水準

に達したのは前の週から八

週間に三千人以上増え、八

千五百十八人と最も多い。

自宅療養者は東京都で一

週間に三百人以上増え、八

千五百十八人と最も多い。

東京、埼玉、千葉、神奈川

の一部二県で計約二万人に

上つた。愛知、大阪、福岡

も三千人を超えた。東京都

が十三日、自宅療養中に体

調が悪化し、救急搬送され

た八十代男性と五十代女性

が死亡したと発表するな

い。

入院先が見つからずに自

宅で待機している人もお

ど、病院外の療養者が死

亡する例が各地で相次いで

いる。

対応が課題だ。

ホテルなどの宿泊療養者

も全国で七千七百八十一人

と前の週より約二千人増

加。全国の入院者数は一万

四千八百六人で、自宅や宿

泊施設での療養者数が入院

者数の約一・六倍になつて

ステージ	感染経路不明の割合					
	新規感染者の前週比	PCR検査の陽性率	人口10万人当たり新規感染者数	全入院者	重症患者	確保想定病床の使用率
3	15人以上	20%以上	15人以上	20%以上	15人以上	50%以上
4	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上

※は緊急事態宣言の対象地域
(厚生労働省の16日の発表)による。中部9県のみ

宣言地域外も感染猛威

新型コロナウイルス感染状況の指標と現状